

立命館大学・上野高校合同鉄道展

～線路をつないだ人 人をつないだ線路～



2006年6月4日(日)



伊賀市 銀座の館 和ホールにて開催

挨拶と企画概要

この合同鉄道展は課外自主活動において中学、高校及び大学の枠を超えた相互交流の促進や一般の方々への会活動の紹介を目的に開催しました。相互交流の面で見ると、それぞれの弱点・強みの相互共有を通してそれぞれの会独自ではなしえない企画を実施できたと思います。また、一般の方々への会紹介の側面では、一般に趣味団体、オタクサークルと思われがちな“鉄道研究会”のイメージを、研究成果を発表することを通じて改善していくことを目指し、アンケート結果などから結果的に一定の成果を挙げられたと考えております。

今後も立命館大学鉄道研究会では、一般への会活動の紹介や研究成果の理論還元を目的とした活動を促進していくと共に、大学の枠にとどまらず高校、中学にわたる広範な交流活動を促進していきます。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

以下、合同鉄道展の報告をいたします。合同鉄道展に参加されなかった方でも雰囲気を感じ取っていただけよう努力いたしました。どうぞごゆっくりご観覧ください。

立命館大学鉄道研究会 合同鉄道展責任者

BKC 副会長 村上 直大

企画一覧・詳細

・研究展示(立命館大学・上野高校)

この企画は合同鉄道展のメイン企画であり、立命館大学及び上野高校のそれぞれの研究成果を模造紙で発表しました。

立命館大学鉄道研究会では、今年度の研究テーマ「**短距離路線**」の研究中間報告を行い、上野高校鉄道同好会では文化班と工業班から「**関西線のこれまでとこれから**」や「**鉄道の軌道幅から鉄道の安全性を考える**」などのテーマで発表が行われました。

会場の様子



・模型展示(立命館大学・上野高校)

模型展示では、上下分離式を採用し、レイアウトを立命館大学鉄道研究会、車両を上野高校鉄道同好会で用意・展示を行いました。模型の運営では両会会員が協力し終始、安全運転に徹しました。

この企画は見ていただくだけでなく来場者にも参加していただくために体験運転線を用意し、お子様を中心に幅広い年代の方から好評を得ました。



鉄道模型を見学する来場者の方々



・鉄道グッズ展示(立命館大学・上野高校)

立命館大学鉄道研究会ではむかしの**硬券入場券**を中心に展示しました。S50年代の近鉄上野市駅の入場券など地元になんだものも用意し、来場者の方々が懐かしく眺めていました。その他に**近鉄の方向版**などを展示しました。上野高校鉄道同好会では**制服**や**信号機**、**ブレーキハンドル**など貴重な鉄道グッズを展示し、来場者の方々が興味深そうに見学されていました。

・写真展示(上野高校)

上野高校鉄道同好会会員が撮影・保有している**鉄道写真**を展示しました。来場者の方々から「どこで撮影したのか」などの質問や「すごい!!」などの感想を頂きました。

展示写真の一例



・機関誌『ポイント』展示(立命館大学)

立命館大学鉄道研究会の機関誌『ポイント』を展示しました。展示は湖西線を取り扱った最新の40号だけでなく20号以降のバックナンバーも用意し、好評を得ました。特に来場者には関西線について取り上げた30号が好評で興味深げに読んでくださる姿を目にすることができました。



機関誌『ポイント』の一例(左から30号、38号、39号、40号)

・入場券の配布(立命館大学)

準備期間が短かったため合同鉄道展特製ではなく立命館大学鉄道研究会が学園祭向けに保有している硬券を来場者全員に配布しました。いまどき珍しい硬券に多くの方に喜んでいただけました。

会場の様子・写真集



多数のご来場誠にありがとうございました。

この場を借りて、厚く御礼申し上げます。

今後とも立命館大学鉄道研究会、上野高校鉄道同好会を
よろしくお願いします。